

ロシア・トルコ景気概況 (2021年4-6月)

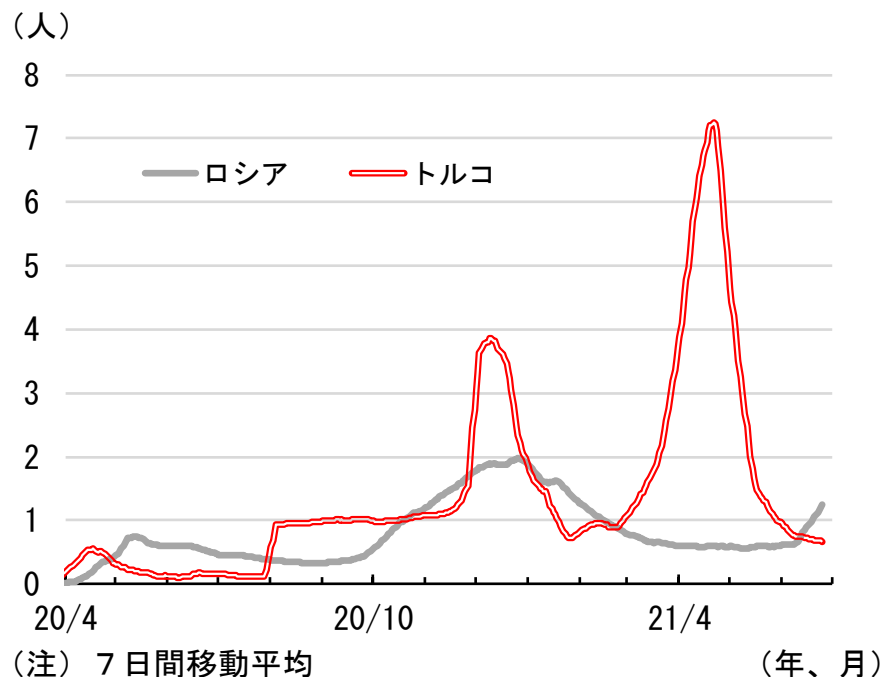
2021年7月1日

調査部 副主任研究員 土田陽介

新型コロナウイルスの感染状況

ロシアでは首都モスクワを中心に新型コロナウイルスの変異株(デルタ株)が流行、ワクチン接種の遅れなどもあり新規感染者数が再び増加している。他方でトルコでは3月から4月にかけて新規感染者数が急増したが、ワクチン接種が進んだことなどから足元にかけて減少が目覚ましく、7月1日から行動制限が全面的に解除される。

人口一人当たりの新規感染者数



(出所)ロシア統計局(ロスタット)、トルコ統計局、国際保健機関(WHO)

ロシアとトルコの行動制限の内容

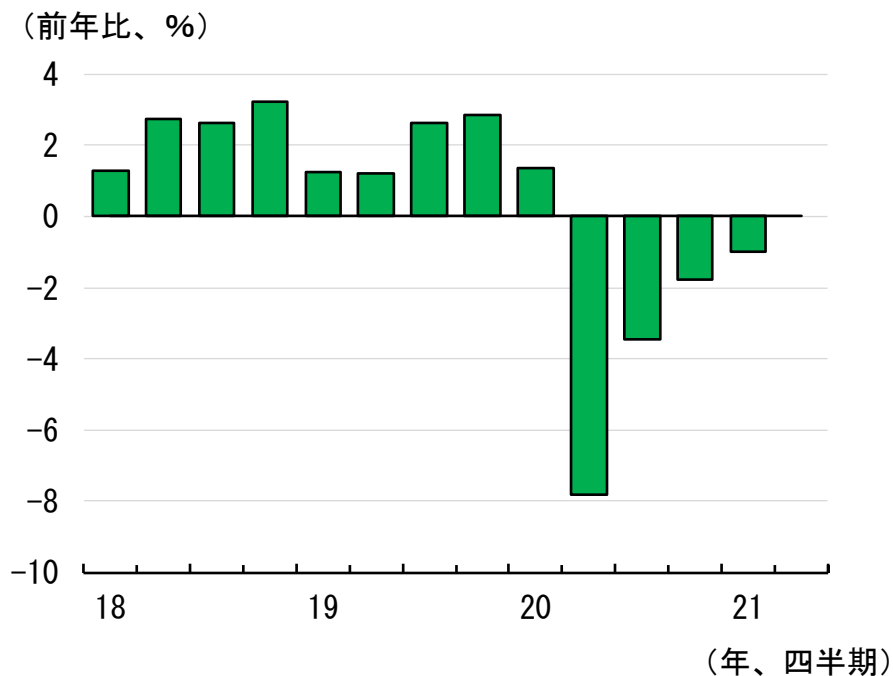
国名	内容
ロシア	<ul style="list-style-type: none">モスクワ市など10都市・地域が6/6、市内の飲食店やショッピングモールなどの事業者に対し、8年半ばまでに従業員の60%以上のワクチン接種を終えるよう義務付けモスクワ市やサンクトペテルブルク市で行動制限を強化、飲食店や遊興施設の利用制限などを再導入
トルコ	<ul style="list-style-type: none">7/1より行動制限を全面解除、都市間移動も自由化。大規模集会において、屋外では参加者一人当たり4平方メートル、屋内では一人当たり6平方メートルの条件規制は継続コンサートや音楽フェスは屋外では参加者一人当たり4平方メートル、屋内では一人当たり6平方メートルの条件の下で開催可能となる。

(出所)各種報道

ロシア景気概況① 景気は悪化している

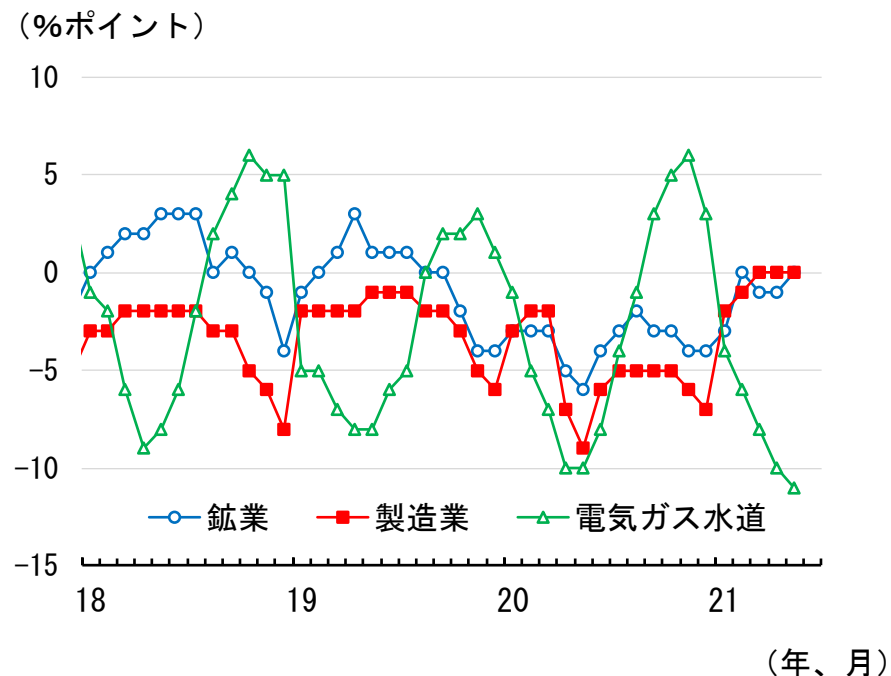
ロシアの1-3月期の実質GDPは前年比-0.7%と4四半期連続で前年割れとなった。しかしマイナス幅そのものは3四半期連続で縮小しており、景気悪化には徐々に歯止めがかかっている。企業の景況感指数は4-6月期にかけて主力の鉱業及び製造業で高止まりしている。

実質GDP



(出所)ロスタット

企業景況感指数

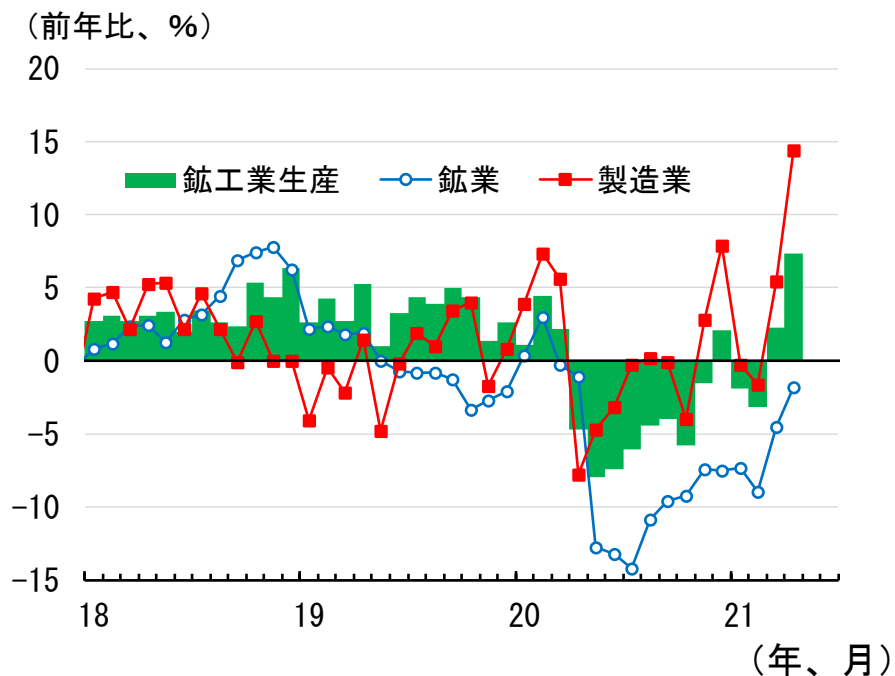


(出所)ロスタット

ロシア景気概況② 生産は回復している

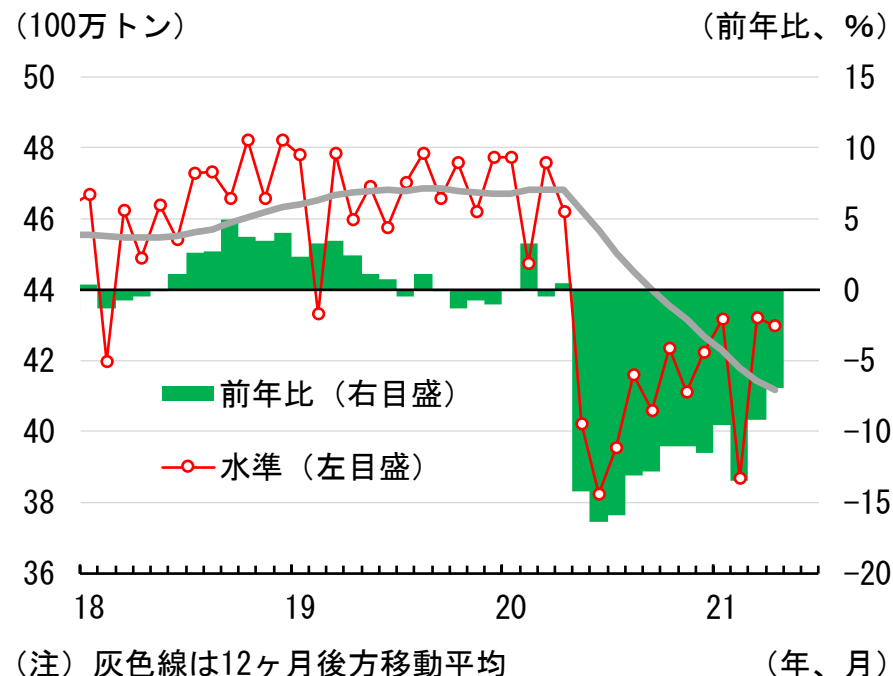
ロシアの4月の鉱工業生産は前年比+7.3%と2ヶ月連続で増加、プラス幅も前月(+2.3%)から拡大した。製造業が+14.4%と高く伸び、全体の増勢を牽引した。また主力の鉱業は同-1.8%と前年割れが続いたものの、マイナス幅は縮小している。原油・超軽質油生産量も前年割れが続いているが、マイナス幅は縮小している。

鉱工業生産



(出所)ロスタット

原油・超軽質油生産量



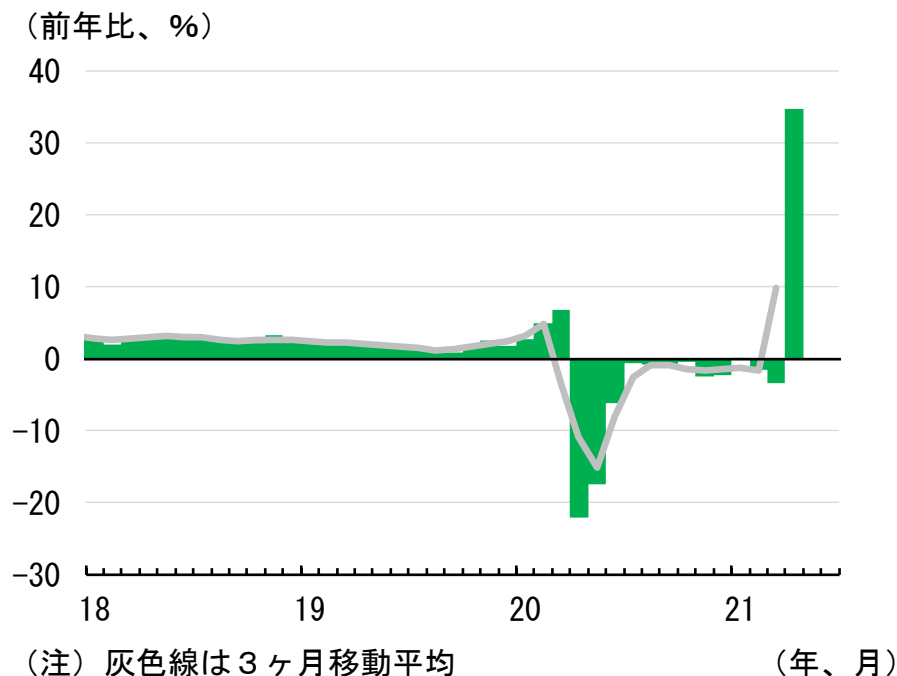
(注) 灰色線は12ヶ月後方移動平均

(出所)ロスタット

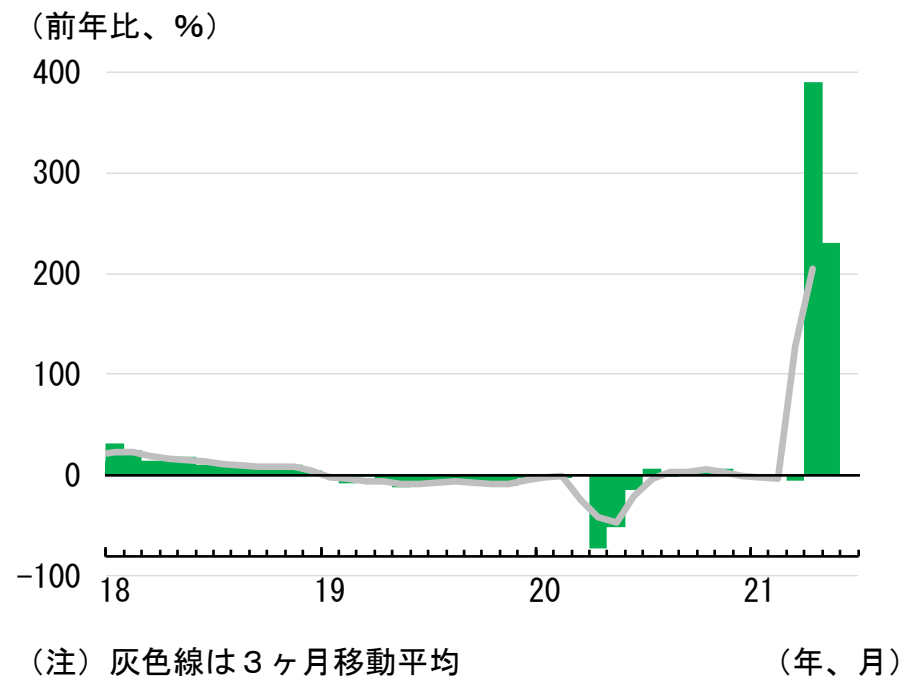
ロシア景気概況③ 消費は回復している

ロシアの4月の小売売上高は前年比+34.7%と記録的な伸び率となった。また5月の新車販売台数は同+230%と前月(同+390%)から伸びが鈍化したものの、高い水準で推移した。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて悪化した前年同期からの反動に加えて、行動制限の緩和を受けた繰越需要の顕在化が、消費指標の記録的な伸びにつながった。

小売売上高



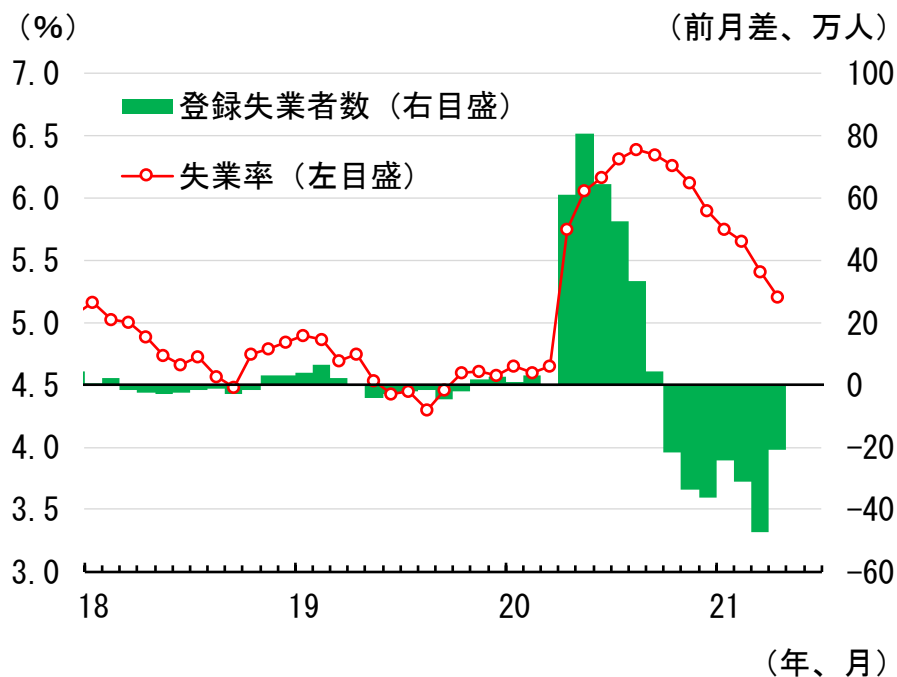
新車販売台数



ロシア景気概況④ 雇用情勢は改善している

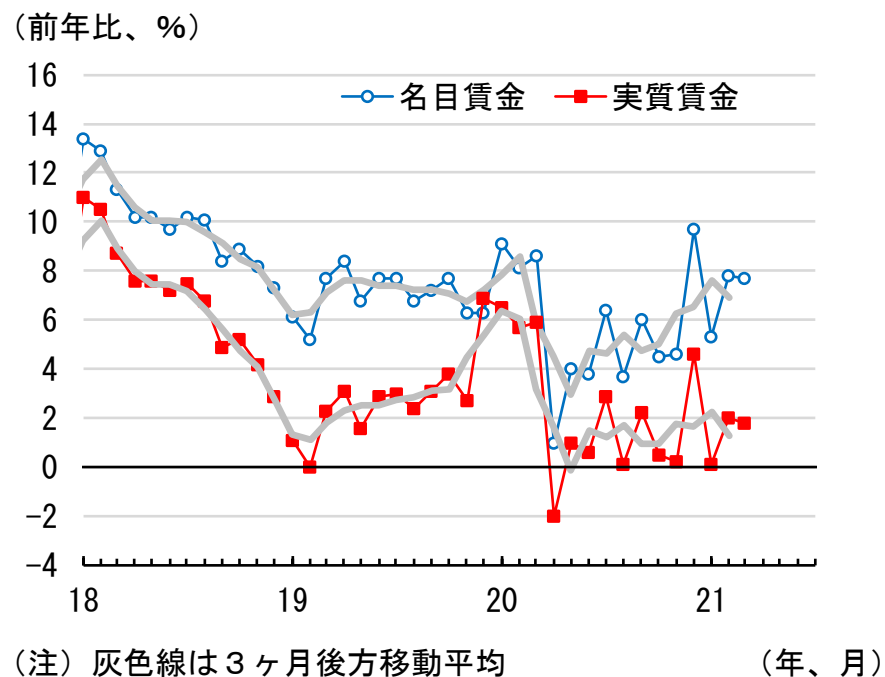
ロシアの4月の雇用統計では失業率が5.2%と8ヶ月連続で低下、登録失業者も前月比20.8万人減と3月(47.1万人減)からマイナス幅が半減したが減少が続くなど、雇用情勢は改善している。賃金は名目ベースでは持ち直しており、また消費者物価で割り引いた実質ベースでも2%程度で着実に増加している。

失業率と失業者数



(出所)ロスタット

賃金動向

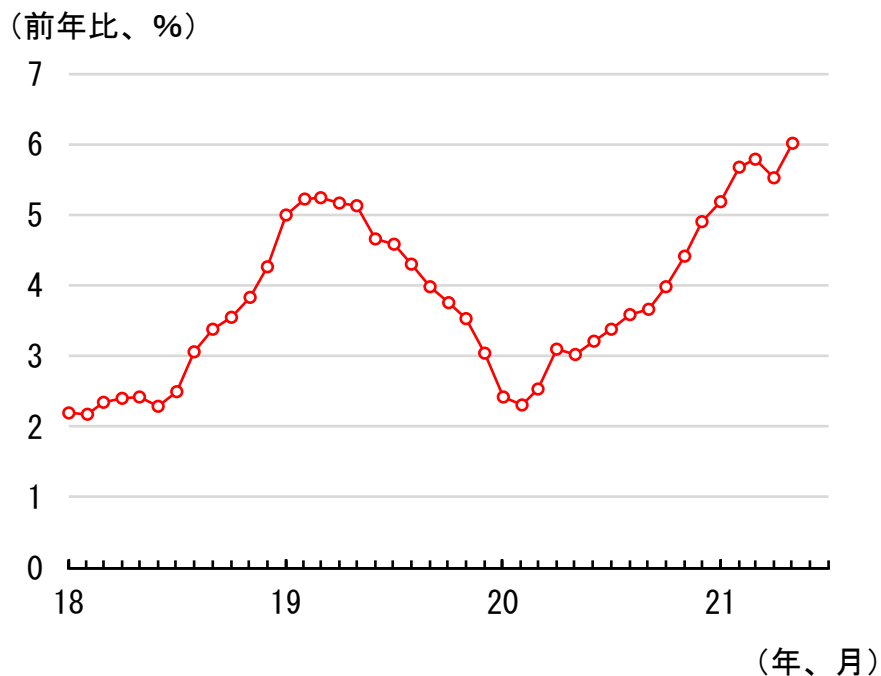


(出所)ロスタット

ロシア景気概況⑤ 物価はインフレが加速している

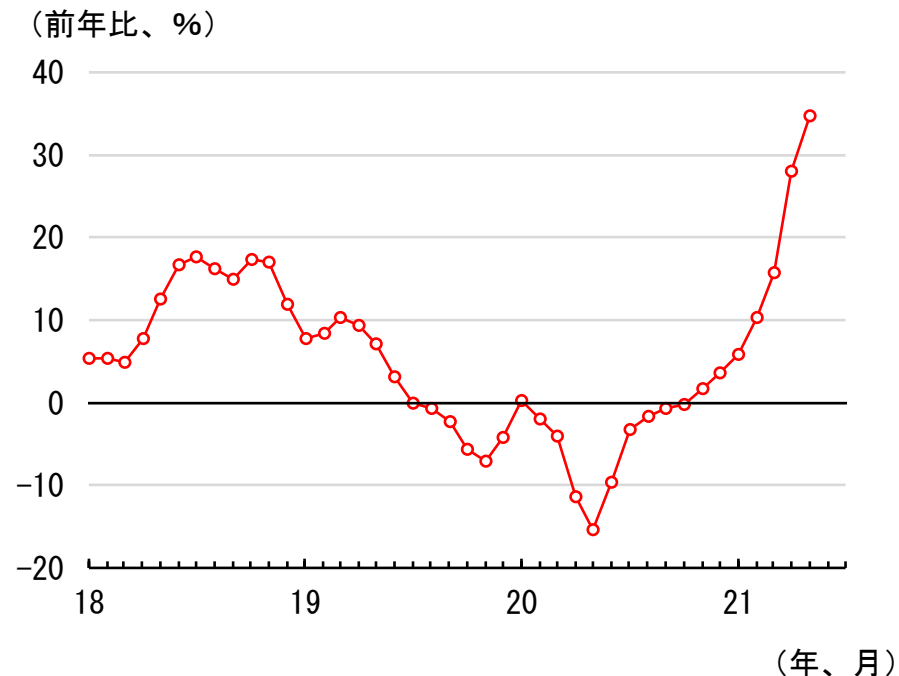
ロシアの5月の消費者物価は前年比+6.0%と再び上昇が加速した。同月の生産者物価も同+34.8%と6ヶ月連続で伸び率を高めている。ルーブルの下落に伴う輸入インフレ圧力や原油価格の上昇を受けたコスト増、さらに行動制限の緩和による需要増などの要因がインフレの加速につながっている。

消費者物価



(出所)ロスタット

生産者物価

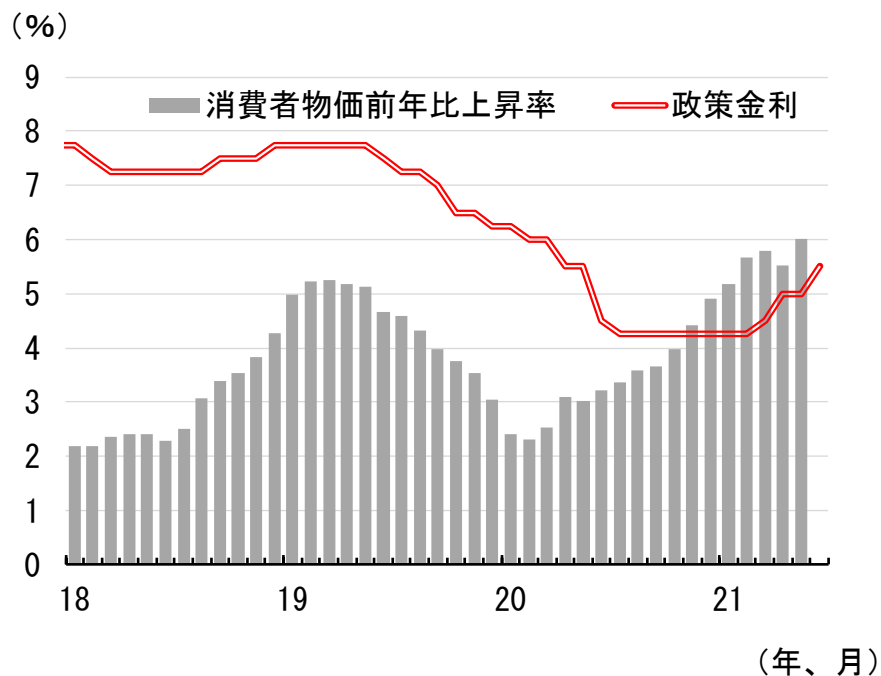


(出所)ロスタット

ロシア景気概況⑥ ロシア中銀は利上げを進める

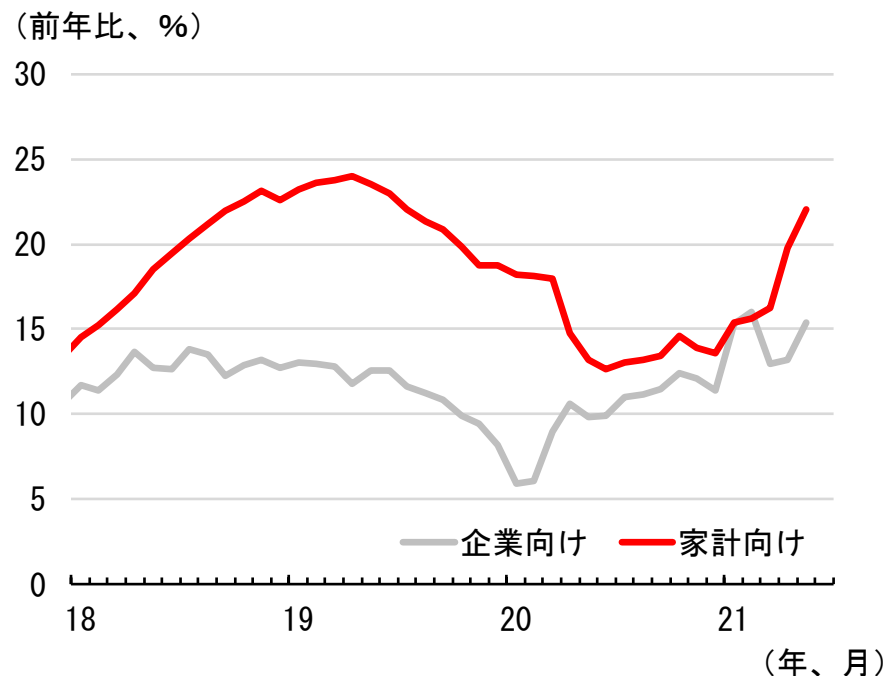
ロシア中銀は4月と6月の会合で0.5%ポイントずつ利上げを行った(政策金利は5.5%)。6月の会合では1.0%ポイントの利上げも議論されるなど中銀はタカ派色を強めており、7月23日に予定されている次回の会合でも追加利上げが行われる見込みである。なお銀行の貸付残高は家計向けで顕著な伸びを示している。

政策金利と消費者物価



(出所)ロシア中銀、ロスタット

銀行の貸付残高



(出所)ロシア中銀

ロシア景気概況⑦ 金利は一進一退、株価は上昇

4-6月期のロシアの長期金利は、この間にロシア中銀が利上げを進めたにもかかわらず一進一退で推移した。他方で株価(RTS指数)は、原油価格の上昇に伴うエネルギー企業の業況回復期待などから堅調に上昇した。

10年国債流通利回り



(出所)ロシア財務省

株価(RTS指数)



(出所)モスクワ取引所

ロシア景気概況⑧ 対ドル・対円ともにルーブル高

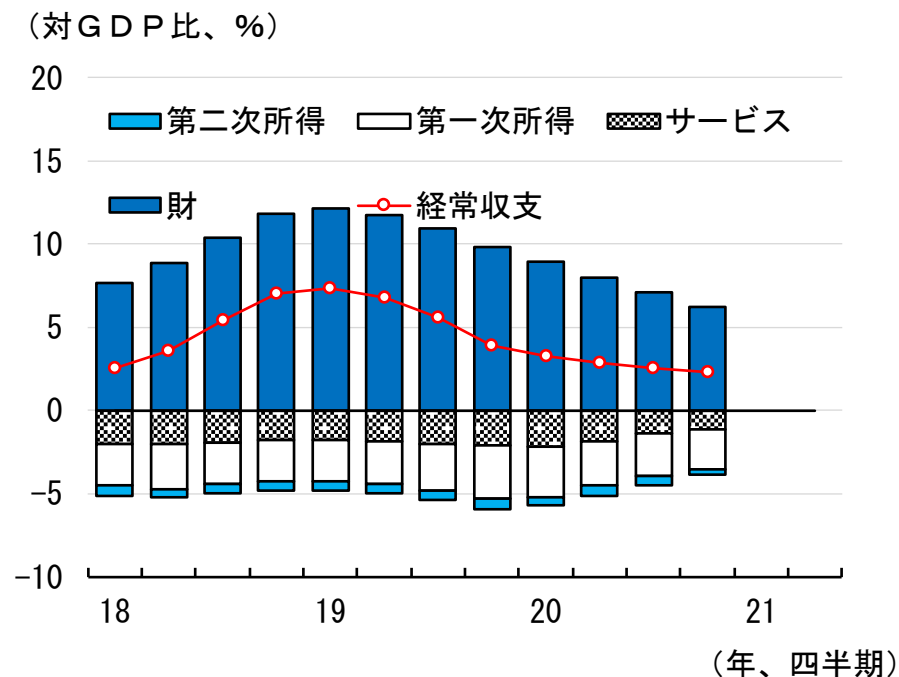
4-6月期のルーブル相場は対ドル・対円ともにルーブル高が進んだ。米国の金融緩和が長期化することへの期待に加えて、原油価格が上昇していること、中銀が利上げを進めたことなどがルーブル相場を押し上げた。経常収支は黒字が縮小基調で推移しており、実需面からのルーブル買い圧力は弱まっている。

ルーブル相場



(出所)ロシア中銀

国際収支



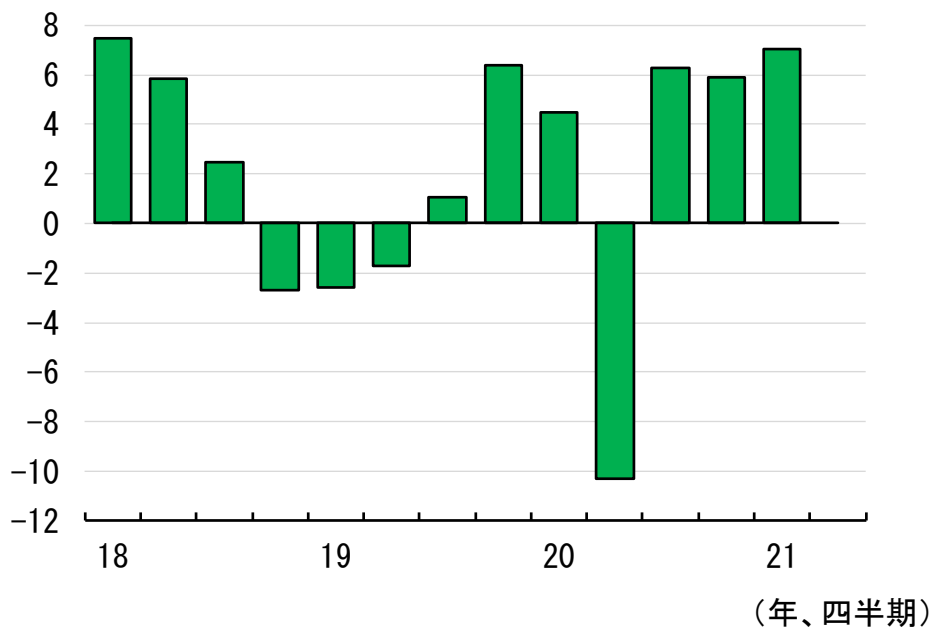
(出所)ロシア中銀

トルコ景気概況① 景気は回復している

トルコの1-3月期の実質GDPは前年比+7.0%と前期(+5.9%)から伸びが加速した。個人消費や総固定資本形成といった内需が堅調に推移したほか、輸出も伸びが加速した。企業の景況感は新型コロナウイルスの感染が拡大した3月以降は悪化したが、5月に収束に転じたことから行動制限解除の目途がつき、6月には改善に転じた。

実質GDP

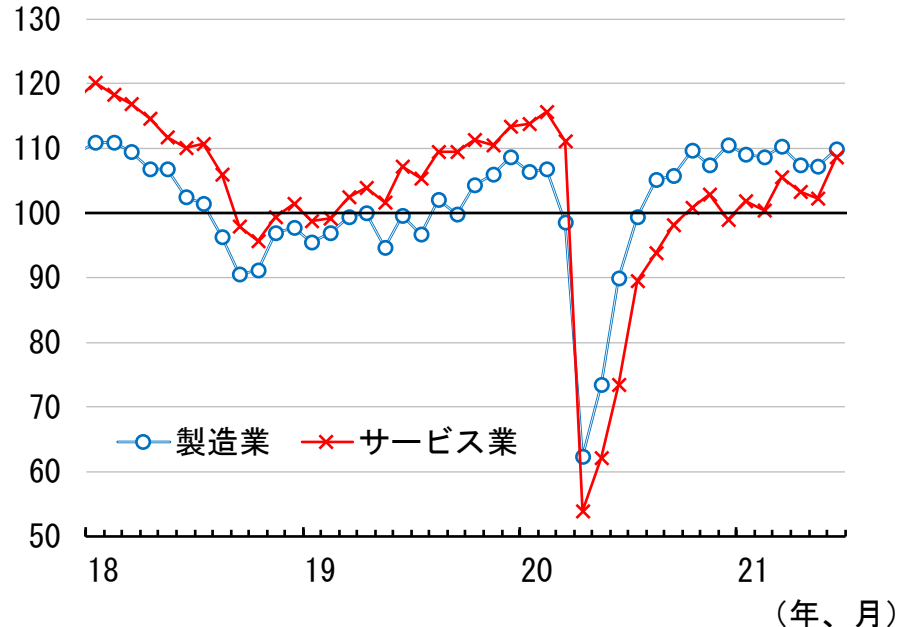
(前年比、%)



(出所)トルコ統計局

企業景況感指数

(中立水準=100)

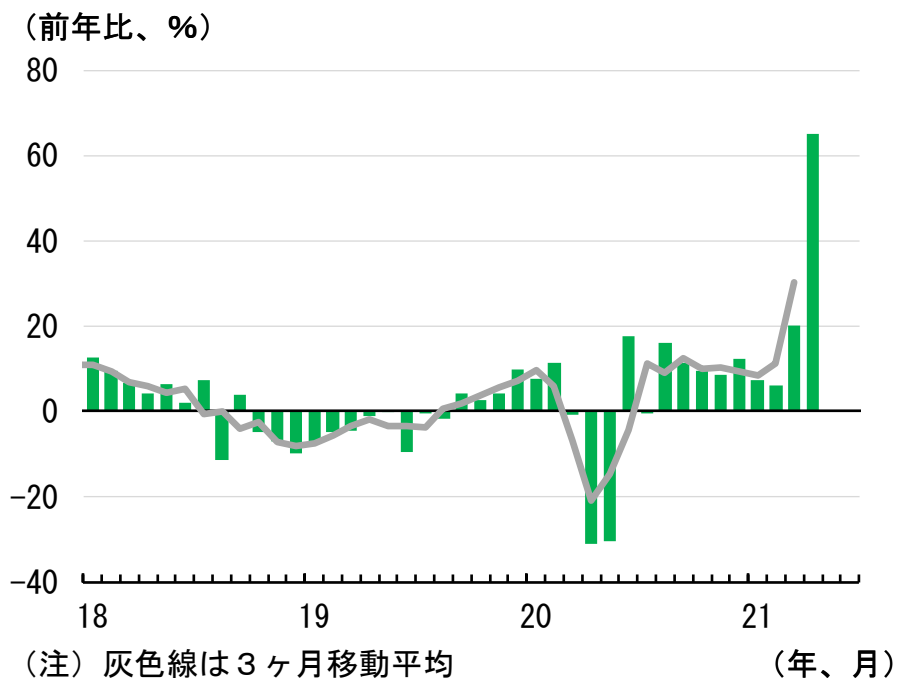


(出所)トルコ中央銀行、トルコ統計局

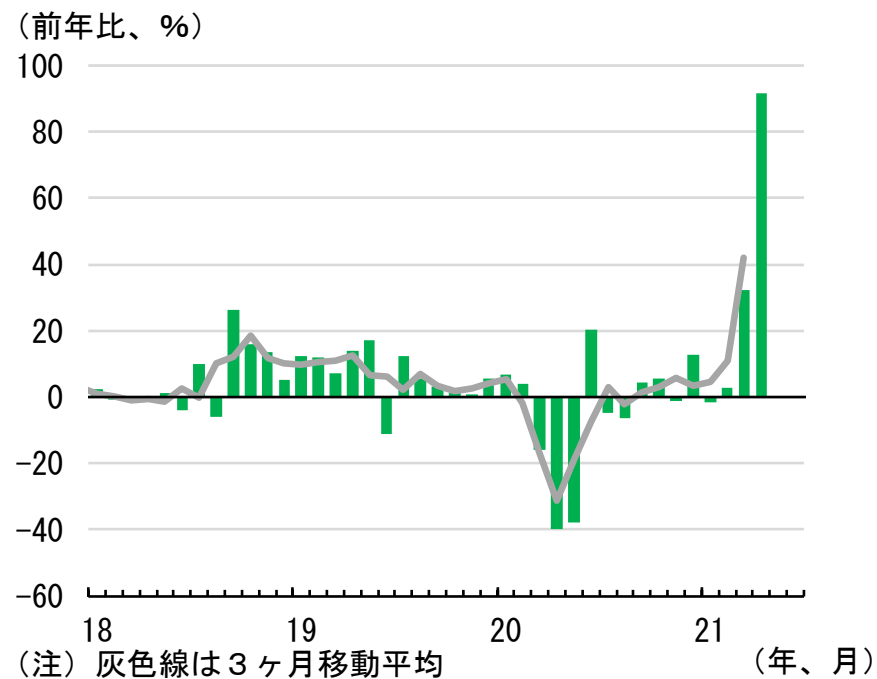
トルコ景気概況② 生産は回復している

トルコの4月の鉱工業生産は前月比+65.2%と記録的な伸びとなった。同様に同月の実質輸出も同+91.8%と記録的な伸びとなった。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて悪化した前年同期からの反動に加えて、行動制限の緩和を受けた繰越需要の顕在化が、生産指標の記録的な伸びにつながった。

鉱工業生産



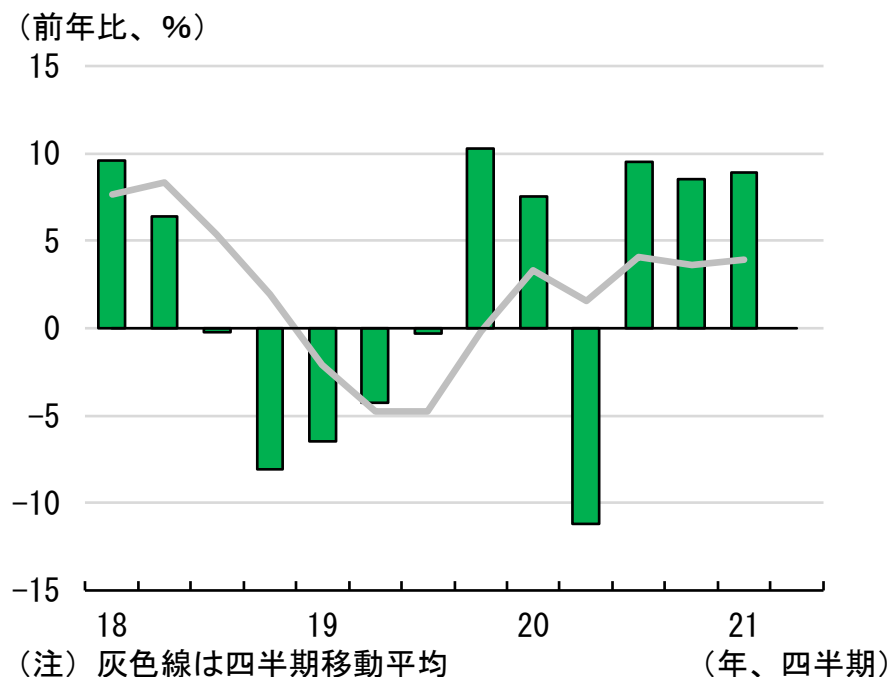
実質輸出



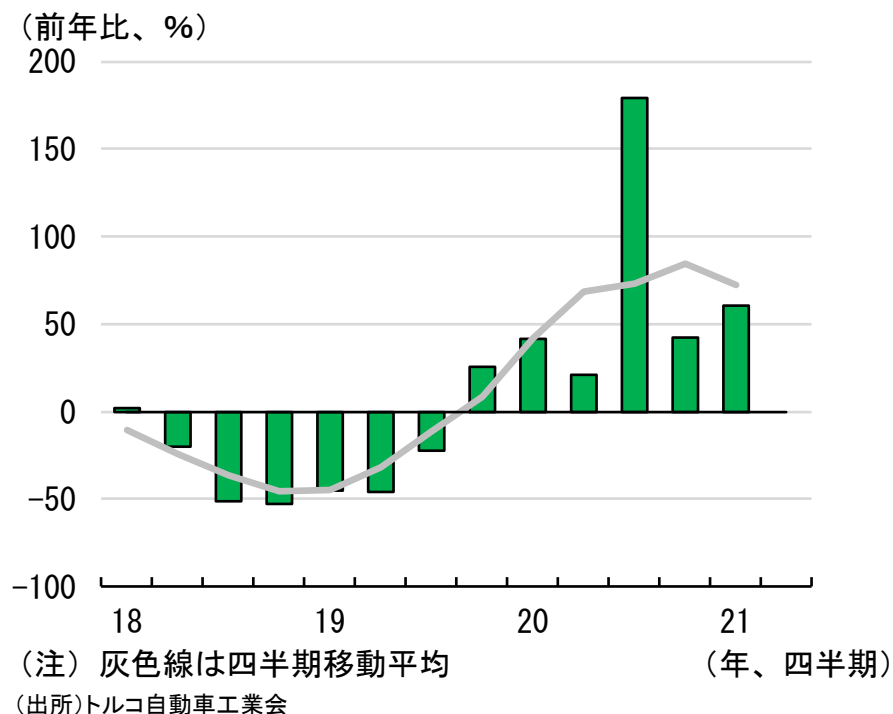
トルコ景気概況③ 消費は回復している

トルコの1-3月期の小売数量は前年比+8.9%と前期(同+8.5%)から伸び率を高めた。また同期の新車販売台数も同+60.7%と増勢が再び拡大した。行動制限の緩和を受けて繰越需要が顕在化したことで、個人消費は耐久財を中心に堅調に回復した。新車に関しては、トルコリラ安に伴う換物需要も市場の好調につながっている模様。

小売数量



新車販売台数(乗用車)

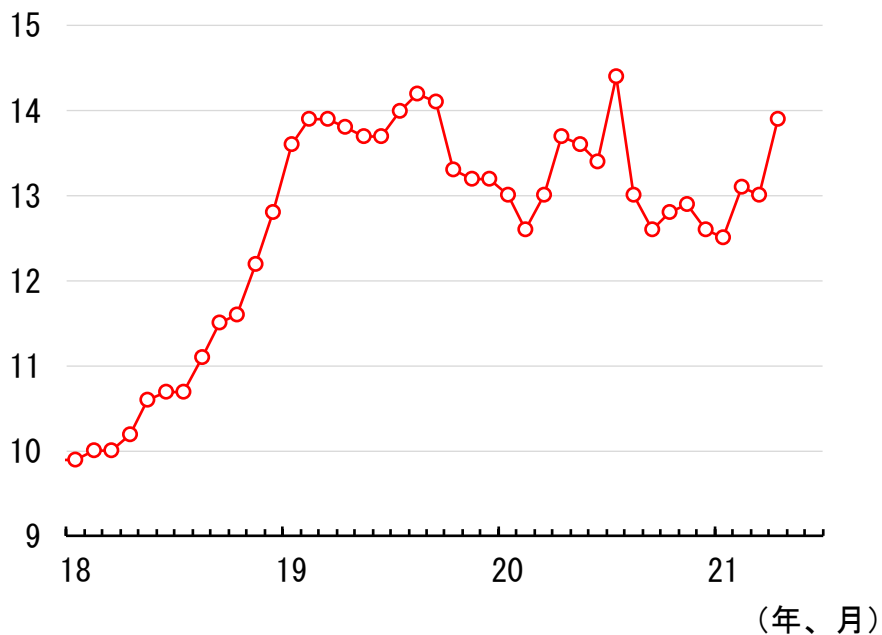


トルコ景気概況④ 雇用は悪化している

トルコの4月の失業率は13.9%と前月(13.0%)から悪化した。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて雇用情勢が悪化した模様。他方で1-3月期の賃金・給与指数は名目ベースで前年比+16.8%と、増勢が2四半期連続で加速した。また消費者物価で割り引いた実質ベースは同+1.2%と4四半期ぶりにプラスに転じた。

失業率

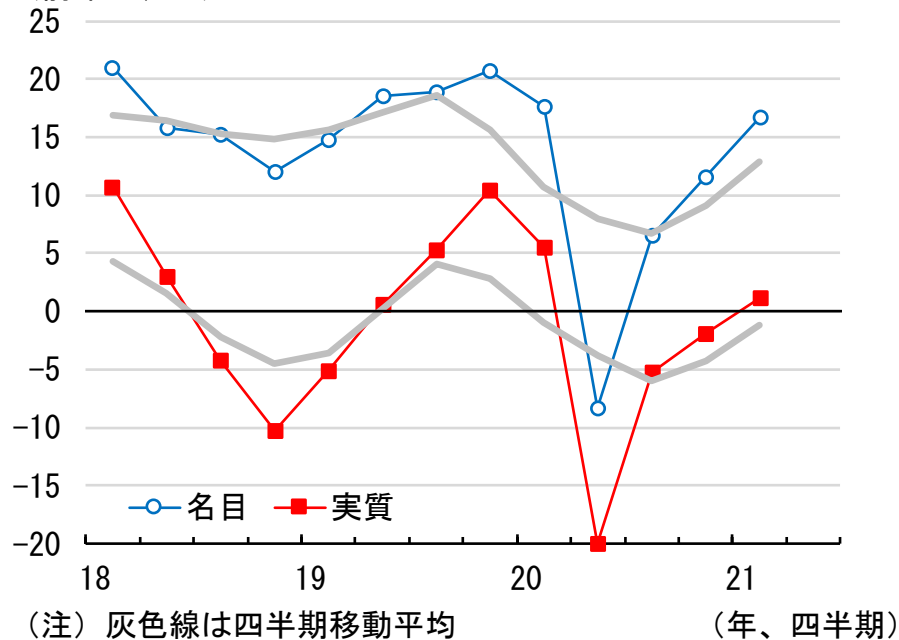
(季調済、%)



(出所)トルコ統計局

賃金・給与指数

(前年比、%)



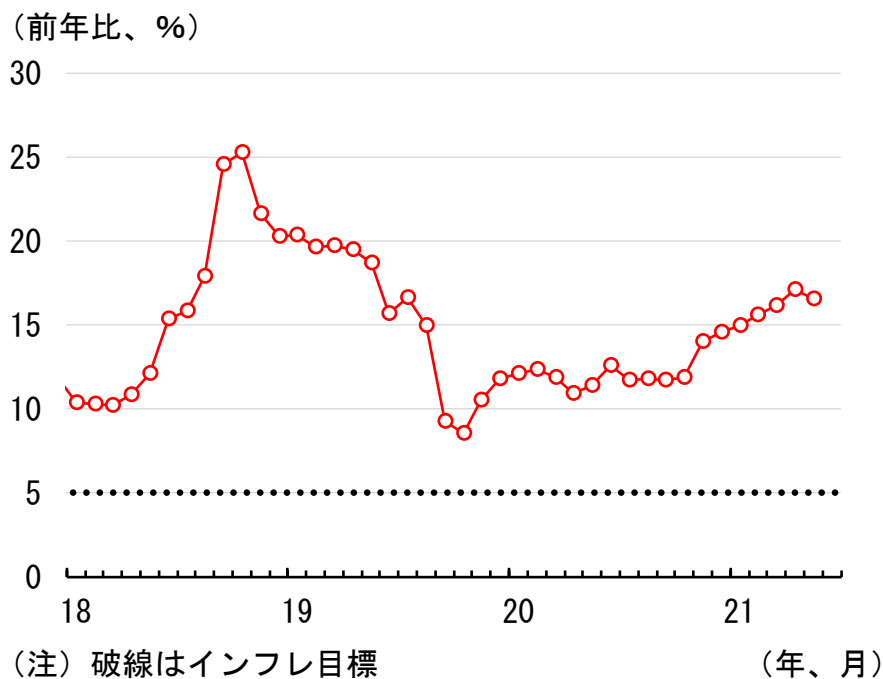
(注) 灰色線は四半期移動平均

(出所)トルコ統計局

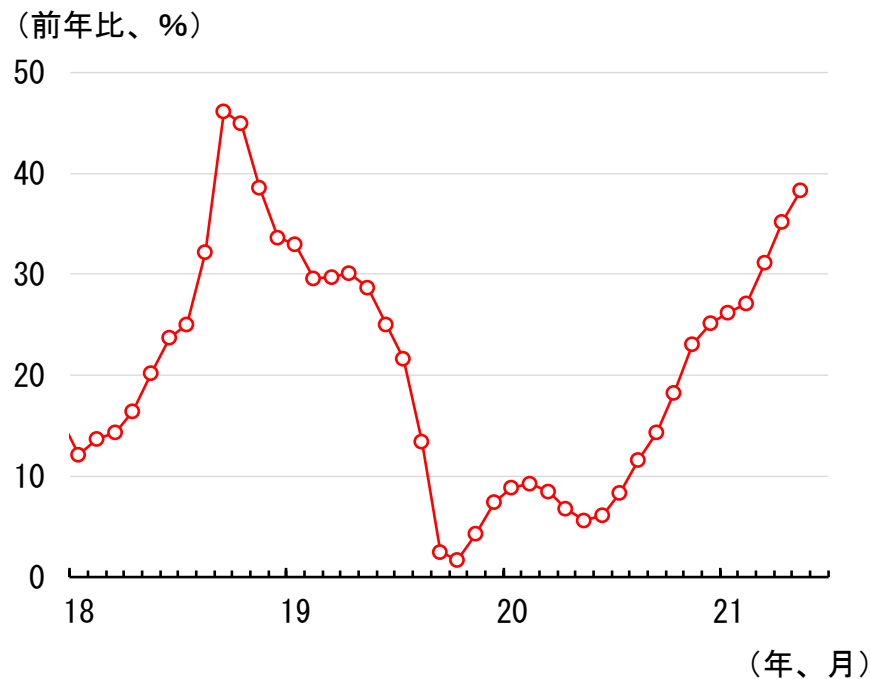
トルコ景気概況⑤ 物価はインフレが加速

トルコの5月の消費者物価は前年比+16.6%と前月(同+17.1%)から上昇が鈍化したものの、均した動きは上昇の加速が続いている。一方で、同月の生産者物価は同+38.3%と伸びの加速が続いている。景気の回復に基づくデマンドプル圧力と持続的な通貨安に基づく輸入インフレ圧力がインフレ加速の理由とみられる。

消費者物価



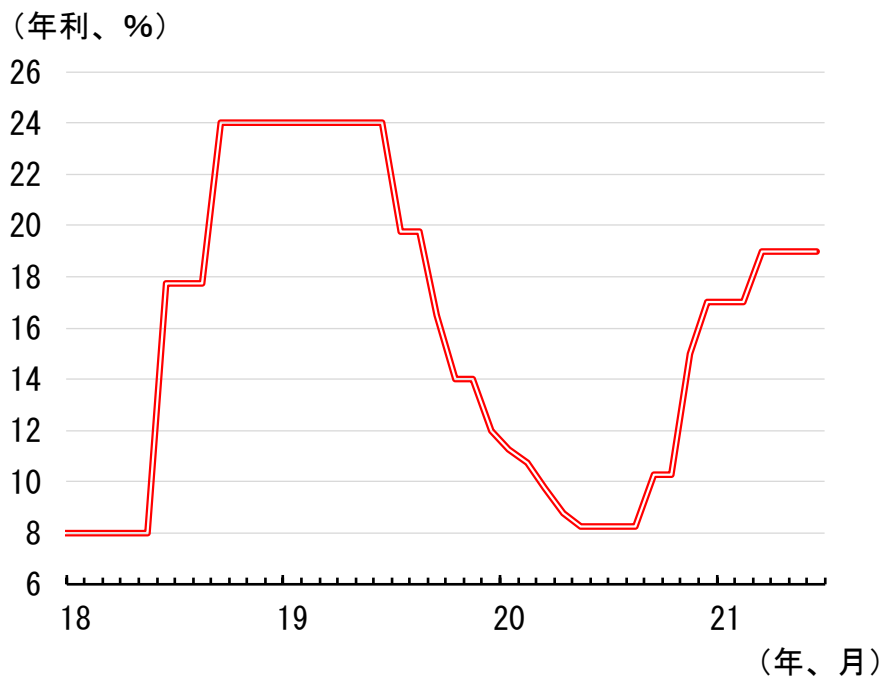
生産者物価



トルコ景気概況⑥ トルコ中銀は金利据え置き

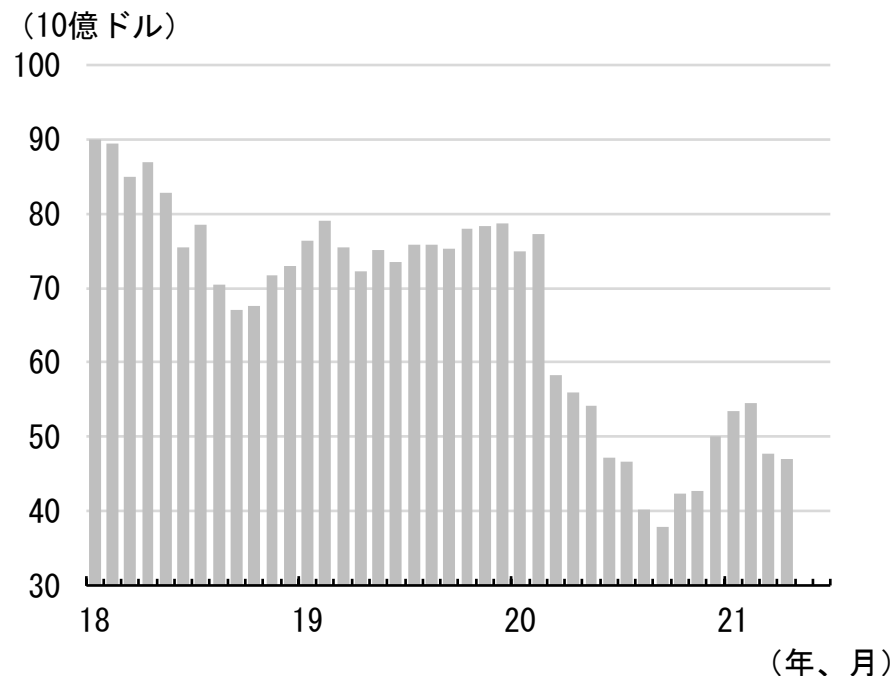
トルコ中央銀行は4-6月期に政策金利(一週間レポ金利)を年19.0%で維持した。カブジュオール総裁は通貨防衛の観点から、引き続きインフレ中立的な金融政策を維持すると表明している。中銀の外貨準備高は2月以降減少トレンドで推移しており、恒常的な為替介入が行われている模様である。

政策金利(一週間レポ金利)



(出所)トルコ中央銀行

外貨準備高(除く金)

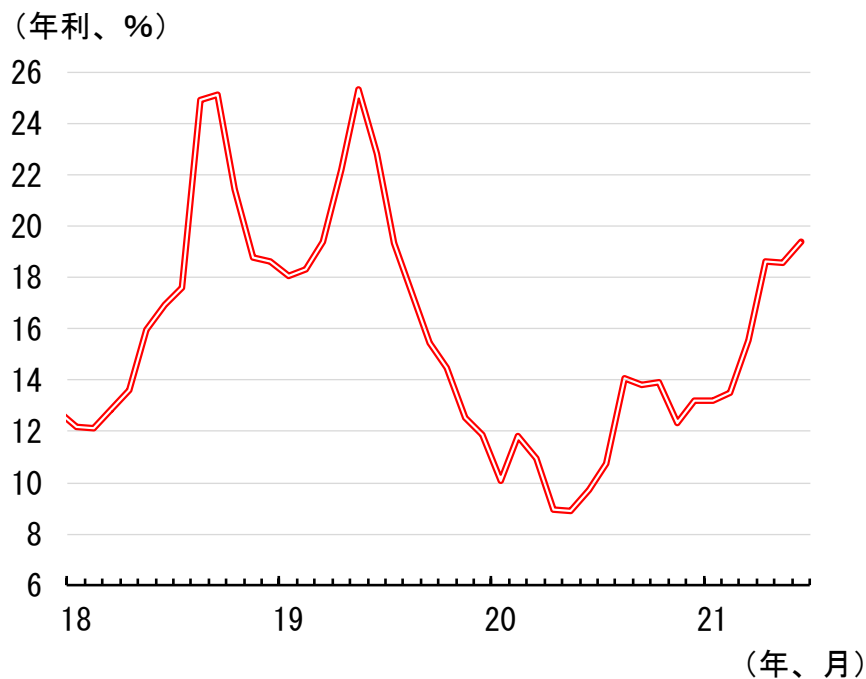


(出所)トルコ中央銀行

トルコ景気概況⑦ 長期金利は上昇、株価は一進一退

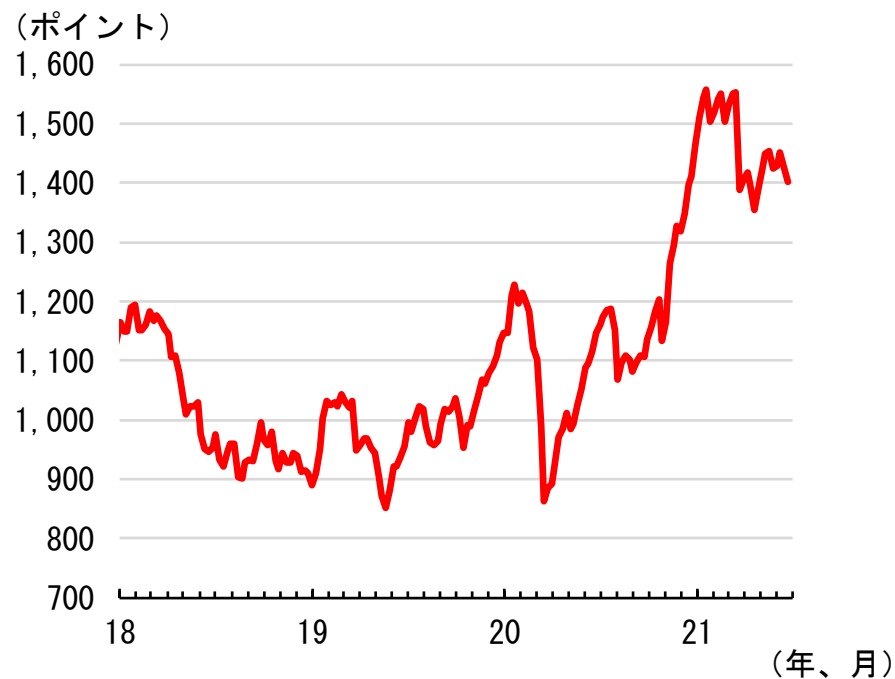
4-6月期のトルコの長期金利は上昇した。中銀はこの間に追加利上げを回避したが、一方で米国発のグローバルな金利高の影響を受けてトルコの長期金利は上昇した模様。他方で同期の株価(イスタンブール100指数)は一進一退となった。3月にアバール前中銀総裁が解任されたことを受けて急落した後、相場は膠着が続いた。

長期金利(発行金利)



(出所)トルコ中央銀行

株価(イスタンブール100指数)

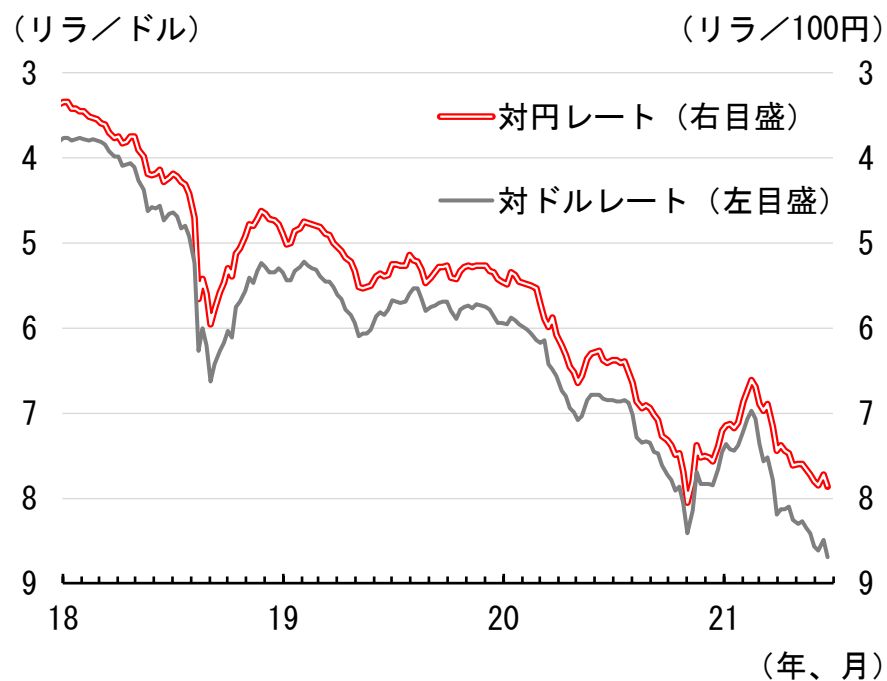


(出所)イスタンブール証券取引所

トルコ景気概況⑧ 対ドル、対円で下落

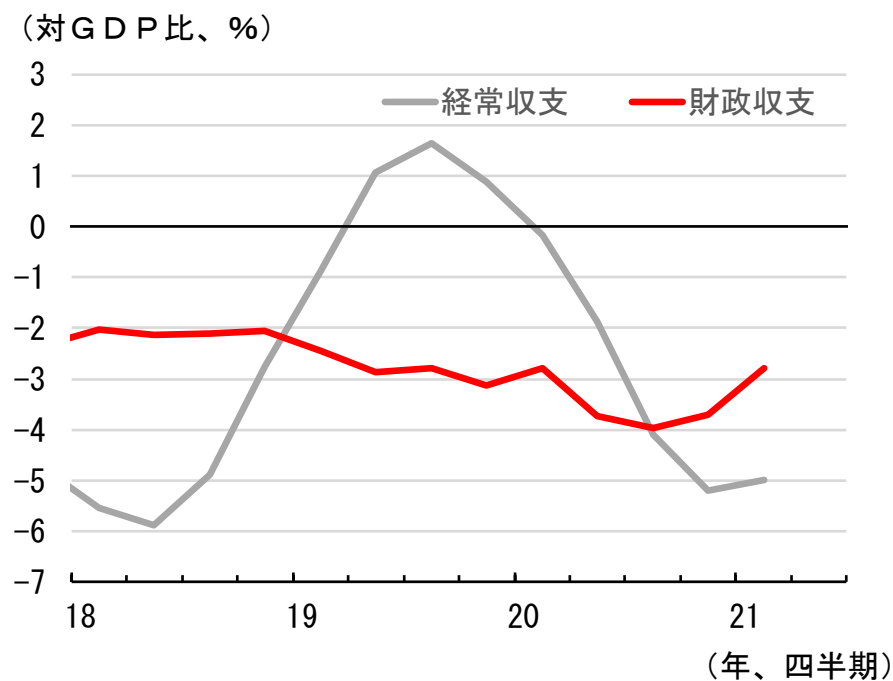
5月のトルコリラ相場は対ドル、対円の両方で下落が進んだ。エルドアン大統領が利下げ肯定するような発言をしたこと(6/1)や米連邦公開市場委員会(FOMC)で金融緩和修正期待が高まったこと(6/16)などを受けて、リラの下落に歯止めがかからない状態が続いた。経常収支赤字は1-3月期に縮小したが、依然高水準である。

トルコリラ相場



(出所)トルコ中央銀行

経常収支と財政収支



(出所)トルコ統計局

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください